

# 美顔術について

## 肥の防人

私は眞面目に美顔術の御話を致します。私の面相を御承知の方々は「あの顔で美顔術の講義もないもんだ」と、テンではねつけられるかも知れませんが、しかしそれは御考違でござりませう。生れながら美人であつたら、誰が美顔術杯研究するもんでせう。私は美人でないから大に研究しましたので、その結果をこゝに公にしますのであります。先づ順序として、愈々の美人といふものはどんなものであらうか、大略標準を極めねばなりません。申さば理想の美人です。それには左の各項について考へねばなりません。

- 一、丈恰好、肉附、姿歩き振、手足の大小
- 二、皮膚の疎密、黒白、血色
- 三、頭の形、顔面の輪廓、面部諸道具の位置、

大小、形状、髪及眉毛等の黒禿、疎密、直縮、歯。

### 四、音聲

### 五、全身の健康、血液の純潔、筋力

以上の諸項にわたつて申分がありませなければ、之はどこへつき出しても格別ひけをとらない美人でありませう。それで、私のは、單に美顔術ではなくて、全体の美人術であります。

この美人術を實行するには決して手ふくれになつてはなりません。又その間に不注意があつてはいけません。手ふくれになつたり、過失があつたりしますと、尙僕だの出聲、鳩胸などになつたり、又生れもつかぬ盲、聾、啞、手癱などになつて一生不幸に終らねばなりません。おそろしい事です。それでその美術の第一着手は重に母親のする事で祖父母も家に在る叔父母も兄弟も之を手傳ひます之を保育と申します。もしあなた、この子はいかにも小さいぢやありませんか「ムウさうさね、

チト肉食を多くして、成分の濃い乳でも出してやつたらよからう」もしあなた、この子は餘り蒼白いぢやありませんか」ムウ少し日向へ連れて出るがよからう」こんな事がその實行の一部分であります。それからだん／＼に子供が大きくなつて、そこらかけまはる程になりますと、父親が直接に差圖する事も加へて來まして、「御前はいつでも首をすくめて居るぢやないか」「お前は少しあるか」とすぐ弱るぢやないか、ドシ／＼運動して足を發達させねばならぬ一杯の類が多くなつて來ます。之を家庭教育と號けます。之と同時に幼稚園教育や學校教育といふ事も段々盛んに行はれて來て、子供が十四五歳になりますと、先づ一通りの美術が濟んだ事になるのであります。

さあ、斯様に一年三百六十五日、父母を中心として祖父母、叔父母、兄弟、隣家のをぢさん、をばさん、幼稚園や學校の先生の片時目放さぬ美人術の實行のおかけて生れもつかぬ眼一になつたり、ち

んばになつたりしなかつた事は世の若い人達の大に感謝せねばならん事でありませう。かたは、さへなければそれで美人の及第點だけはたしかにあるのです。かたはであつても仕方がないぢやありませんか。それに何ですか、少し色が黒いとか、鼻が低いとか言つて父母の賜物に不足をいふ杯は全く罰わたりの考です。それはナル程かたはでない丈では「妾は美人です」と自慢する事は出來ますまい。しかしそんな自慢をした所で誰も餘り感心はしません、のみならず、それは元來、根本に間違があります。凡そ右申した及第以上の美人といふものは大神みんな同等であります。梅も櫻も紫雲英も形や色や恰好は皆それ／＼にちがつて居ますが、みなそれ／＼に趣を備へて居ます。それに、櫻でなければ花で無い様に言ふのは、言ふ人の超趣の至て淺薄な事を示して居るのです。物は一長一短、完く備はつたものでありはしませぬや、ね。美人だつて同じことです。それに、御

本人達が梅でありながら、花梗の長い櫻の花をつけて見たがつたり、げんげでありながら木の枝に咲いて居たがつたりする様の事を考へるのは、それは常識のわり過ぎた一種の濁世狂といふべきものでありませう。狂人はとても美人のうちにかぞへられませぬ。

それにまわ、譬ても考へて御覽。今こゝに一冊の本を綴ぢたと考へて見なさい。その綴ぢ様が氣に入らんからといつて全くやりなほして綴ぢかへて御覽。ナルホド綴ぢのところは見よくなりませう。けれどもその前の綴穴の傷は到底免れませぬ。その上、持ちなぶつたが爲に、最初の様に綴がチャシと締つて居ませんで、「嗚呼こんな事なら初から我慢して居たものを」と後悔するに極つて居ますですから角張つた顔を丸めたり、低い鼻を高めた杯する様の事はたとひ出来ても、どこかにそれだけの傷がのこります。それはその筈ですもの自然が年月かさねてしたしごと、人間が一時にさ

かしらを加へて見るのですもの。誰やらが句に「手にとるなやはり野にかけんげそふ」といふのがある。こんな事に手だしをしない方が後悔がありません。現に私のよく存じて居る婦人に、眉を濃く見せようと思つていつでもいろ／＼の黒い物を塗つた結果、眉毛の發育を害して、短いどころの眉毛になつた人があります。御注意なさいませ「角を矯めて牛を殺す」といふ事もあります。

さりながら、斯様に申上げた丈では私の美顔術といふ事は少しも技倆がわかりませぬ。で、極て特志の方には、全く私の秘密專賣、無害有效請合、天下唯一無二の御傳授を致さんでもありません。イエ、ナニ別に謝儀は申受けませんでよろしいから、その代りこの秘傳を讀んだ以上は必ず之に歸依する決心を願いたい。讀んで御歸依なさらないなら、秘法だけに、屹度罰があります。ヒョットよく御會得になつて御修行なさらうものなら、すべての美ならざる點はのこらず美になつて

有害どころか、却て健康をすゝむる事が請合であります。

先づ色の黒いのを白以上にする事。諺にも「色の白いのは七難かくす」と申してホンに色を白くさへ致しますれば、他の少々の事は決して目障りになりませんで、事によつたら、却て愛敬になります。例之ば少しおですこであつても、また随分お多やんであつても、色が白かつたら、却てそれが愛敬になつて、餘計に人の目を惹きます。元來美人の目的は人の目を引いて愉快に感じらるゝ點にありませう。ですから、よくその目的さへ達するなら、何も必ずしも卵に目鼻が美人と限つたわけはありません。ところか私はその色を自由に白くする、いや白以上にする法を知つて居るのです。則ち私の説法をよくお聞きになつたら色の黒いのが直ぐ色の白いと同等以上になります。先づ色の黒いのはその精神のたしかなことを表して居ます。それに、色白のかくす事の出来な

い一難を色黒はかくす事が出来ませう。

それが何であるかと申せば、色白は怒つたり、恨んだり、驚いたりしますとすぐそれが顔色にあらはれて、甚だ他人の快感を殺しますが、色の黒いのはその點大丈夫です。餘計黒ければ黒い丈一向わかりません。ですから、世間でも「色の白いのは七難かくす、色の黒いのは八難かくす」と申します。それで、どうですか色の黒いのはなほりましたらう。イエ、色の黒いのはなほらんでもそれを氣にする病がなほりましたらう。何も茄子であつて白瓜を羨んだり、椎茸であつて長芋をそねむ事はいりません。しかしまだもつと難をかくすものが御入用なら御傳授致しますせう。それをよく御服用になつたなら、あらゆる難が皆なくなりませう。單にかくれるのではなくて、全くなくなるのです。三角な顔が丸うなります。痘痕が醫になります。お多やん位は天人になります。のみならず、グント全身の健康も進み、血液も純粹になります。

す。之が私の美顔術の最秘最奥の所で、若し御精進のわるい、貪、瞋、癡、慢の汚れがあつては及第は出来ませぬ。一切の貪、瞋、癡、慢、慢を去つて、「どうか美人になりたい」といふ唯一心の信心で、お服用なさい。それは外ではない左の事を紙に書いて朝、夕と寝みなしによむ事です。

笑顔よいの十五難

よく之を御服用になつて居られると、しまひには御顔から御光がさす様になるかも知れません。ダイヤモンドも何もいつた事ではありませぬ。そのかはり一日でもこの服用を忘れて、不平面、佛頂面、泣面、おこり面、慢チキ面、慾張聲などお出しになると、百日の芽を一日に焼いてしまひます。之が若し御参考になる節があつたら誠に難有い事でござります。終りに申しあげておきますが、私の研究した範圍では、この外に多少参考になる様的美顔術といふものは決してありません。世間でいふ美顔術は會々前號に宮崎君の言はれた通

り唯の化粧法に過ぎませぬ、

(完)

混砂米は無害

混砂米の衛生上に有害なりや否やは一般社會の注意する所にして過般内務省に開ける地方長官會議に於ても亦此問題に就て頗る議論ありたる由なるが其後衛生局は特に衛生試験所に於て試験を行ひ北畠、横手二博士等の意見をも徴して綿密に研究したる結果有害に非すと決定したり然れども該試験は單に東京米に付てのみ行ひたるものなれば之を以て一般各地に於ける混砂米を律すべからざるは云ふ迄もなきとなるを以て各府縣に於ても日常食用する混砂米に對し充分なる調査を施し然る上更に衛生局に報告する事になり居れるが要するに現今一般に使用する程度に於ては決して有害なりと認定する能はずとのことにて混砂米の禁止は當分これを不問に措くならんか